

殺菌効果試験報告書

試験依頼書 (株)遠隔医療研究所
被試験品名 ポーラー
試験目的 ポーラー使用による抗菌効果
試験方法

- 試験期間：平成 10 年 12 月 11 日～29 日
- 試験菌種：黄色ブドウ球菌(*Staphylococcus aureus* ATCC25923)
大腸菌(*Escherichia coli* ATCC25922)
レジオネラ菌(*Legionella pneumophila* JMC7571)
- 菌数測定用培地：黄色ブドウ球菌・大腸菌：標準寒天培地・レジオネラ菌：WY0 倍地
- 試験操作：約 1.0×10^5 CFU/ml に調整した黄色ブドウ球菌・大腸菌及びレジオネラ菌の混合液をポーラーに流入し、前後の生菌数を培養法で確認する。
各菌とも 3 例ずつ実施し、その平均値を菌数とした。

試験結果

	黄色ブドウ球菌	大腸菌	レジオネラ菌
試験開始時	1.5×10^5 (100%)	4.0×10^4 (100%)	7.2×10^4 (100%)
1 回目	1.4×10^4 (9.3%)	5.2×10^3 (13.0%)	$< 1.0 \times 10^2$ (< 0.1%)
2 回目	1.7×10^4 (11.3%)	5.8×10^3 (14.5%)	$< 1.0 \times 10^2$ (< 0.1%)
3 回目	1.4×10^4 (9.3%)	4.7×10^3 (11.8%)	$< 1.0 \times 10^2$ (< 0.1%)
原水	$< 1.0 \times 10^2$	$< 1.0 \times 10^2$	$< 1.0 \times 10^2$

単位：CFU/ml

()内は開始時を 100%とした際の菌残存率

以上 御報告申し上げます。

平成 11 年 1 月 5 日

試験機関 株式会社 生命情報分析センター
検査部長 北折 秀樹

登録衛生研究所 愛知県第 68 号
(財)医療関連サービス振興会認定